

ASML ホールディングス NYRS(ASML)

【セクター】 半導体製造装置

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

オランダの半導体製造装置メーカーで、露光装置で世界シェアが約8割と圧倒的なトップ企業です。半導体露光装置は、半導体ウェーハに設計図の回路を投影するための機械で、各種半導体製造装置のなかでもドライエッチング装置と並んで最も市場規模が大きい分野です。19年12月期の売上は、ロジック半導体向けが56%、メモリ半導体向けが21%、サービスなどが24%を占めます。国別の売上（18年12月期）は、韓国34%、台湾18%、米国18%、中国17%などが上位です。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ユーロ、EPS、DPS、BPSはユーロ、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
18年12月期	10,944	2,704	6.34	2.10	27.6	24.1	57.8
19年12月期	11,820	2,598	6.16	-	29.6	21.4	55.6
20年12月期予想	13,439	3,456	8.32	2.62	32.2	26.3	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

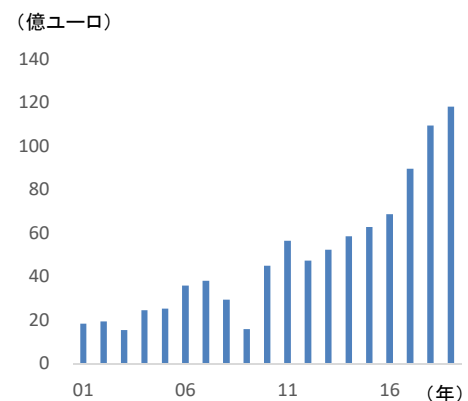
【主要指標】

図表1 半導体製造装置売上ランキング（2018年）

会社名	売上(億ドル)
アプライド マテリアルズ(AMAT)	140.2
ASML ホールディングス(ASML)	127.7
東京エレクトロン (8035)	109.1
ラムリサーチ(LRCX)	108.7
KLA(KLAC)	42.1
アドバンテスト (6857)	25.9
SCREENホールディングス (7735)	22.3
テラダイン(TER)	14.9
KOKUSAI ELECTRIC(非上場)	14.9
日立ハイテクノロジーズ (8036)	14.0

（出所）VLSIリサーチの公表データをもとにSBI証券が作成

図表2 長期の売上推移



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

半導体は微細化によって性能が向上していきますが、露光装置の光源波長によって微細化の程度が決まるため、製造装置の中でも特に重要な機械です。同市場には日本のニコン、キヤノンも参加していますが、ASMLの世界シェアが8割と圧倒的です。1台200億円と言われる最先端の「EUV」（Extreme Ultraviolet Lithography、極端紫外線リソグラフィ）を19年時点で製造できるのは同社のみで、世界シェアは100%です。半導体産業の拡大を確実に業績拡大へとつなげられるポジションにあると考えられます。

【見通し・注目点】

19年12月期は半導体製造装置業界が縮小となった中でも、同社の売上はロジック半導体メーカーの微細化需要を取り込んだことで前年比8%増と堅調でした。19年10-12月期の売上は、前年同期比28%増、19年7-9月期比35%増と回復が鮮明になっています。20年の見通しについて、「ロジック半導体は5Gとハイパフォーマンスコンピューティングへの投資で引き続き強く、メモリーの顧客には回復への最初の兆候がみられる」とし、「市場は拡大の見込み」としています。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 20/1/29）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。